

THE Y'S MEN'S CLUB OF NASU

NETWORK NASU

CHARTERED 1995



那須ワイズメンズク

2023~2024年度 No.284

8 月報

那須クラブ会長 主題

「若者と共に」成長しよう



強調月間：戦略2032

今月の聖句 エフェソ人への手紙5：8-9
光の子として歩みなさい。光がもたらす実は善と義と真実だけです。

8月第1例会

日時：8月19日(土) 午前10時~

場所：塩谷町 とちぎYMCAキャンプ場

原田明子ワイズ宅

内容：キャンプ場視察・納涼例会・オークション

キャンプ場に仮植えた、苗木の育ち具合を確認。

原田明子ワイズ宅に移動する。

司会：田村 修也 副会長

開会点鐘・挨拶

会長 河野 順子

ワイズソング斉唱

一同

ワイズの信条の斉唱

一同

聖書朗読・祈祷

司会者

ゲスト・ビジターの紹介

会長 河野 順子

昼食

団樂 「フリートーキング」

オークション

YMCA報告

ワイズ報告

YMCAの歌

閉会挨拶・点鐘

会長 河野 順子

* 今回の例会は、キャンプ場の視察・整備、納涼例会を行う予定であったが、とちぎYMCAが塩谷キャンプ場の将来計画が白紙の状態であるために整備は行わないことにした。

会費 メン・メネット 1,000円

参加者は、準備の都合がありますので、17日(木)までに村田副会長(090-9095-4035)まで連絡を。

2022~2023年度 主題

国際会長：(IP) ウルリック・ラウロセン(デンマーク)

「輝かそう、あなたの光を」

アジア太平洋地域会長：(AP) 利根川 恵子(川越)

「改革のための光となろう」

東日本区理事：(RD) 山田 公平(宇都宮)

「未来のために今、学びと気づきを！

未来のために、自信を育み、真の喜びに出会う！」

北東部長：大久保 知宏(宇都宮)

「クラブのミッションを育てよう」

クラブ役員

会長：河野 順子

副会長：村田 榮・田村 修也

書記：藤生 強

会計：村田 榮・鈴木 保江

担当主事：平山 雄大

ブリテン：田村 修也・村田 榮

7月例会データ (出席率：100%)

在籍者 8名

出席者 8名

コメント 2名 ゲスト ユースリーダー2名

8月 Happy Birthday

なし

お詫びと訂正 7月の案内に7/11 鈴木 保江ワイズの誕生日が抜けておりました

・9月第2(役員会)例会

日時：8月19日(土) 例会後

場所：原田明子ワイズ宅

・北東部大会

日時：9月2日(土)

場所：福島市

・9月第1例会(ACPその3 最終回)

日時：9月30日(土) 午後4時30分~

場所：西那須野教会

巻 頭 言

田村修也

キャンプへの誘い

私の手許には宇都宮大学学Y時代に愛用した「楽しい歌・レクリエーションソングズ フォー キャンプ、グループ、アンド クラブ」があります。YMCAプレス1952、昭和30年6月10日増訂十版発行です。新入生歓迎会の野外炊飯等や関東甲連盟の夏の修養会で使用していました。私は18の時から教会学校の教師やボーイスカウトのリーダーをしていましたので、様々な野外活動の時にこのソングブックを携えて愛用していました。今でも歌い継がれている「星かげさやかに」「遠き山に日は落ちて」「静かな湖畔」「静かに更け行くキャンプの夜」「美しい湖水よ」等々は、山中湖畔にあるキャンプ場でのキャンプ活動の中から生まれ出たものです。夏ごとのキャンプを重ねていくと、これらのキャンプソングが生みだされていった状況が実感として迫って来ます。私の初めてのキャンプ体験は中学1年生の頃だったと思います。ボーイスカウトの隊員であった幼馴染みに誘われて、3人で塩原の大沼湖畔でキャンプをしました。朝目が覚めますと前日に見えた緑の木々や山々が一面濃い霧で覆われて、霧の中にすっぽり包まれていました。この時に出来た歌が「霧が歌うよ、霧が歌うよ、我らがこの喜び。霧が歌うよ、霧が歌うよ、我らが忘れ来しもの。霧よ、霧よ、緑のあ一山々何処。」でした。また、食事を準備していた時に蚊の大群に襲われたことは記憶に鮮やかです。大学4年生の夏に東山荘で開催された「全国学Y夏期キャンプ」にも参加しました。北海道から九州までの各学Yから仲間が集まりグループに分かれて様々な活動をしました。そして、最期の夜、キャンプファイヤーが行われました。その時に、全国学Y委員会委員で学生部主事であった落合則男さんが来たことを覚えています。そのキャンプファイヤーも終わりに近づいた頃、キャンパーがそれぞれ紙片に各自の祈りを書いて、「火をともし毎に膝をかがめ 感謝の祈りを捧げまつ 祈りは炎と立ち上りて 感謝の心をここに捧げん」を歌いながらその祈りの紙を営火の中に投げ込みました。その祈り紙が炎となって天に上ってゆくのを皆で見つめていました。そして最後に皆で手を繋いで大きな輪になって「ロード メイク ミー ア ホーリー、ロード メイク ミー ア ホーリー、ロード メイク ミー ア ホーリー、アンティル ミート アゲイン、ホーリ ホーリ ホーリ、アンティル ミート アゲイン。」を歌って再会を誓いました。キャンプの仲間の絆は生涯にわたるものです。地域子供会等の夏のキャンプに参加した方々は、今でもお会いすると「キャンプファイヤーは楽しかった。」と顔をほころばせて話してくれます。夏こそ出来るだけ多くの青少年の方々に素晴らしいキャンプの経験をして頂きたいと願っています。キャンプこそ「みつかる。つながる。よくなっていく。」場なのですから。



2023. 7.15 7月例会（入会式・歓迎会・祝会）於和厨房「遊膳」

7月第1例会(入会式・歓迎会・祝会)報告

日時：7月15日(土)午後5時30分～

場所：和厨房「遊膳」

出席者：河野、田村、村田、鈴木、張、原田、藤生、平山の各メンバー、田村・村田メネット、ゲスト：ユースリーダー2名、計12名

7月例会は、①原田明子氏の那須ワイズ入会式、②総会／2023-2024年度キックオフ例会、③田村修也メン『奈良傳賞』受賞及び那須ワイズ『ブリテン賞』受賞のお祝い、などなど明るい話題も多くあることから、「和厨房 遊膳」にて会食をしながら行いました。

初めに原田明子氏の『那須ワイズ入会式』を行いました。原田氏はワイズメンであった原田時近氏(2021年12月逝去)のメネットとして、那須ワイズ設立時からワイズを支えておりました。原田氏逝去後も那須ワイズ例会にはたびたび出席しておりましたが、この度ワイズメンとして那須ワイズに入会する運びとなりました。

河野会長が入会の式文を読み上げ、原田氏が宣誓を行いました。原田氏は「これからも那須ワイズの仲間と共に活動をしていきたい。」とあいさつを行いました。



続いて『総会／2023-2024年度キックオフ例会』として、2022-2023年度「事業及び決算報告」の承認と、2023-2024年度「事業及び予算計画」の承認を行いました。

初めに、2022年-2023年度事業について河野会長より報告が行われました。コロナ禍のため若干の変更・中止はあったが、計画した活動の多くを実行することが出来たと報告がされました。決算報告については村田ワイズより行われました。コロナ禍による活動変更等に伴う変更が生じたり、ワイズ北東部活動がコロナ禍以前に戻りつつあるため部会費が発生したり、などあったがほぼ計画通りであったとの報告がされました。

続いて2023年-2024年度事業計画について河野会長より説明が行われました。例会は毎年行っている活動を引き続き実施していくが、ワイズ全体

でユース育成が主題になっていることを踏まえ、今まで以上にユースボランティアリーダーが参加し多くの学びや体験が得られるよう配慮して例会を行うこととする、と説明がありました。

予算計画については村田ワイズより、例年同様の行事が計画されており、またコロナ禍以前と同じような活動運営が出来るとし予算を組んだとの説明がありました。報告及び計画とも承認され、新年度がスタートしました。

新型コロナの脅威は無くなったわけではありませんが、コロナが明けつつある中で美味しい食事を頂きながらの例会は、この数年の閉塞感を振り払うような和やかで楽しい例会となりました。



8月第2例会(役員会)報告

日時：7月28日(金)午後4時30分から

場所：田村副会長宅

出席者：河野会長、田村副会長、村田副会長、田村暁美メネット

1. 8月例会の件

8月19日(土)午前10時からとちぎYMCA塩谷キャンプ場、原田明子ワイズの宅で開催する。内容はキャンプ場の整備を計画していたが、とちぎYMCAがキャンプ場の整備計画が白紙の状態であるので、草刈りをやめて、仮植えしている苗木の成長を確認する。その後、原田明子ワイズ宅に移動し、納涼例会とオークションを行う。リーダーの参加大歓迎。とちぎYMCAが苗木がいない場合には、この秋に植え替えるところを決める。

2. 9月例会について

計画では、那須御園老人ホーム訪問となっている。9月初めに訪問することにして、特別例会とする。第1例会は、第3回公開講演会(ACPについて)を開催する。9月30日(土)午後4時30分から、西那須野教会にて。最終回とする。

3. 10月第2例会(役員会)について

8月第1例会後に開催する。

4. 北東部大会について

予定では、9月2日(土)に福島で開催計画である。福島にYMCA・ワイズの設立を進めるため。

5. JEF基金に献金について

田村修也ワイズに奈良伝賞を記念して、那須ワイズとして献金20,000円をする。

那須火山噴出物「流れ山」について(2)

副会長 田村 修也

宇都宮大学名誉教授阿久津純

科学や技術の進歩は目覚ましく、テレビ、ファックス、自動車、新幹線など、それらの成果や新製品は毎日の生活なかにも活かされ、利便と恩恵にあずかっている。それにひきかえ、日々眺めている那須や高原などの山々は十年一日、何の変化もないように見える。しかし、大地を研究している地球科学の分野も遅々意図してではあるが新しい見方や考え、新しい解釈が提案され、研究されつつある。火山学は専門ではないが、那須火山についてこれまで行われた研究の結果を参考に、りんどう湖付近の火山山麓に分布している「流れ山」からなっている地形や堆積物は何を示し、何を意味しているかを考える。

流れ山は那須火山の東南麓には広い火山の裾野が広がり、芦野、伊王野付近の八溝山地の西を流れる黒川のへりまで達している。火山麓のこの地域を高久丘陵と呼んでいるが、この丘陵は那須火山の火山活動の初期の噴出物が堆積してできた地域で、その噴出物の一部は黒羽、馬頭にまで達している。

黒磯から晩翠橋を渡り、那須街道を北上し、田代から東に折れて、大日向、りんどう湖、池田付近に来ると、緩く東南に傾き、円丘状、あるいは円墳状の高まりが所々に見られる。この丘は雑木林におおわれ、また、放牧場の高まりを成したりしている。りんどう湖周辺にみられるこれらの高まり(丘)を「流れ山」と称している。

那須火山東南麓に分布している「流れ山」を最初に掲載したのは白河図幅の地形調査の報告で、付図にその一部を示している。この図で泥流丘と書いてあるのが「流れ山」である。「流れ山」は高度約五百メートルの池田北部を頂点に、西は一縦、東は余笹川付近まで分布し、一部は漆塚南部、余笹川付近まで達している。「流れ山」は上から見ると楕円形のものも多く、時には二つ連続してひょうたん型、不規則な形のものもある。何れも円墳状の緩い斜面からなり、長径の方向はほぼ地形の傾斜の方向に一致し

ている。大きな山体は御富士山(高度四九三・三メートル)や池田付近に分布し、比高約三十メートルに達するが、平地からの高度は十~十五メートル位の起伏のものが多い。

「流れ山」は時に径一~二メートルに達するような安山岩の大塊や岩塊、岩片が雑然と堆積している。

りんどう湖は幾つかの「流れ山」の間の低地部を堰き止めて造った人造湖(江戸川温水溜池)で、昭和三十九年に完成したが、用水は下流約百戸の農家が利用している。その他、北条、山梨子、大同付近には小規模な溜池が散在し、用水を確保している。この地域で行われている人口溜池による利用は県内の各地域には見られない営農の一形態である。

「流れ山」はこの地域の自然に溶け込み、山麓部の単調な地形に変化を与えている。家裏に流れ山を背負った日溜りの農家、庭先の流れ山を借景とした日本庭園、雑木の散在するゆるい放牧地など、自然を生かして利用している。しかし、流れ山の間を流れる小川は曲流しながら流下し、北に向かう道路は流れ山に当たると屈曲し、カーブの多いことも実感する。

那須火山の研究はその後、火山主部の岩石学的研究を主として調査や研究が行われたが、「流れ山」と火山本体との関係を論じたものはなかった。(以下次号へ)

西那須野幼稚園だより

学校法人 西那須野学園

西那須野幼稚園

園長・理事長 福本 光男

宮崎駿さんの「となりのトトロ」は、昭和30年代の所沢が時代設定になっています。自然が豊かで、インクルーシブ(包括)な地域社会が機能していました。村に大きな木があり、主人公の「メイ」と「サツキ」姉妹の隣人である「カンタ」君に代表される異年齢の子ども集団。「メイ」が居なくなった時、村人は仕事を途中にして探してくれました。となりの「カンタ」くんの「おばあさん」は、「メイ」が戻ってくるのをずっと外で待っていました。何もしていないかに見える「本家のおばあさん」も、実は村に1台しかない電話の取り次ぎの大切な役割がありました。このような自然豊かな地域社会のなかで、地域の宝としてみんなで子育てが行われていました。だから、「メイ」と「サツキ」の姉妹も、「お母さん」が入院、「お父さん」が大学の考古学の先生で不在の時も、健やかに育っていました。

そして、この幼稚園でも、元もと実施していた地域との交流をベースにして、2000年から「トロ・プロジェクト」ということで、幼稚園を中心に、その後、こひつじ保育園、児童発達支援センター「シャローム」が加わり、時代に合うような地域社会を再構築しているところです。那須YMCAはこども達のよき支援者です。

アジア学院たより

学校法人 アジア学院

アジア農村指導者養成専門学校

校長 荒川 朋子

8月の平和月間に思う

今年のアジア学院の学生たちはいつもとはなんとなく違うような気がします。違いの一つは、ミャンマー、カメルーン、ナイジェリアなど、激しい内紛や対立の続く地域からの学生が多いことです。普段の年でも、アジア学院の学生の出身国は、貧困、食料や物資の不足、教育や医療サービスの欠如、環境破壊、病気の蔓延など様々な問題を抱えていますが、今年の学生は非人道的な暴力が長年横行する絶望的な状況の中から大変苦勞をしてやってきた学生が多いのです。

ご存知のようにミャンマーはクーデターが起きて2年半が経ち、軍事政権が民主的な政治を求める国民を制圧し続けていますし、カメルーン英語圏(北西州及び南西州)では、2017年10月以来、英語圏独立を掲げる分離独立派と治安部隊(フランス語圏の国軍)との衝突が続いていて、未だ多数の死傷者が出たり誘拐事件も頻発しています。教育も商業も、国民の生活はあらゆる面で甚大な被害を受けています。ナイジェリアは北部でボコ・ハラムという過激化イスラム組織が自爆テロ、襲撃、誘拐、強盗等を行っていて、治安部隊との衝突も断続的に発生しているため、外務省からは退避勧告が出ています。

こうした海外の安全状況は、外務省の海外安全ホームページで確認することができます。そのホームページでは、危険度がレベル1(黄色)からレベル4(赤色)まで色分けしてあり、濃いオレンジがレベル3で渡航中止勧告、赤のレベル4が最も危険な退避勧告で、渡航はもちろん、現地にいる場合も即安全な場所に退避してくださいと言われていました。

この色分けでアジア学院の学生たちの国を見てみると、ほとんどが濃いオレンジか赤、つまり渡航中止勧告、退避勧告の出ている地域です。ミャンマ

一、カメルーン、ナイジェリアの他にも、メディアにはほとんど出てきませんが、毎年数人の学生が来る、また卒業生も多くいる東北インド諸州の中のひとつ、マニプール州というところでは、5月にクキ族とメイテイ族という部族が衝突し、3か月経った今も極度の緊張状態が続いています。今年はカリブ海のハイチからも学生が1人来ていますが、2年前に大統領が暗殺されて以来、国全体に緊急事態宣言が敷かれ、退避勧告(レベル4)が出ています。

学生たちはこういう現実を背負って来ているので、時々驚くような暗い表情をすることがあります。笑顔の奥に、悲愴な影が見えます。家族の状況を心配するあまり、授業に集中できないでいる学生もいます。毎日の日常が暴力の中にある家族を残し、それに対する不安と恐怖とで押しつぶされそうになっていることは容易に想像がつかます。

彼らはあきらかに人間の起こした分裂と混乱の最中にいます。と同時に、キリスト者として、神の正義と人の正義の分裂のはざまにもいて苦しんでいると言えます。人の正義とは、人の物差しで善悪を決め、悪い者を裁き、罪に定めることが最終目的です。だから悪と定めた相手と争ってその相手を懲らしめなければならないのです。一方で神の正義とは、たとえ相手が罪を犯したとしても、その人の救いと再生を願い、その人が立ち上げられるように、その傷や弱さを分かち合い、いつくしみを施すことです。それは神の広く深い愛から来る正義です。

そのような正義と愛は、分かち合いも、慰め合いもない、かりそめで空虚な平和の状態に楔(くさび)を刺します。許し合いなさい、わかり合いなさい、感謝し合いなさい、ひとつにしてくださいと祈りなさいと促すのです。それはどんなに忍耐を擁することか。彼らの厳しい表情は、共生の難しさ、平和への道のりの陰しさが言葉では言い表せないほどのものであることを表しています。

暴力の渦巻く現実の中、そのような神の正義の実現されることを願うのは無謀とも思えます。それでも、それしか私たちに平和への道はないと思います。暴力を持って暴力を制するのではなく、神の正義の来たらんことを願い、愛を持って許し合い、慈しみの心を持って相手の傷と弱さを包み込み、救いと再生を求める。神の力を借りて、そうすることができる人間にならしめてもらえるよう祈り、小さな愛の行いを、施しをひとつずつ重ねていく。それしか、平和に続く道はありません。

聖園那須老人ホームたより

社会福祉法人 イースタービレッジ
那須聖園老人ホーム
施設長 薄井 高宏

記録的な猛暑が続き、セミの鳴き声も元気がないように聴こえる今日この頃、皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

今年の夏は、大変な暑さに見舞われ、全室冷暖房完備の新施設に移る事ができて本当に良かったとしみじみ感じています。例年ですと、水分補給や、居室の温度を下げることに職員と躍起になっている時期です。高齢者の一般的な特徴としまして、喉の渇き、発汗、暑さを感じる器官が鈍くなってしまいうというものがあり、服装も額に汗をかいているにも関わらず長袖を三枚重ね着されたり、夜間室温が30度を超えているにもかかわらず扇風機のコンセントを抜いてしまう方もいて、イタチごっこになってしましますが、職員と「命にかかわる事」と一丸となって対応していました。建物の設備が良くなるとこんなにも違うものかとありがたみを実感しております。

皆様も無理をなさらず、くれぐれもご自愛ください。

新しい施設に建替わるにあたり

聖園那須老人ホームでは、新しく個人契約入所を開始したいと思います。この制度は、地域にお困りの方々に住宅を供給する観点からのサービスで、措置入所で必要な条件や入所判定委員会の意見、市町の決定がなくても施設と入所を希望する方との契約で入所できるサービスです。契約にもいくつか条件や料金の違い、サービスにも違いがありますので、ご興味のある方は、下記連絡先までお問い合わせください。

また、新築にあたり、ご寄付も募っておりますので併せてご連絡ください。

タオル寄付のお願い

聖園那須老人ホームでは、入所者の方々が生活する中で、様々な場面で使い切りの布（タオル）を使用しています。つきましては、皆様には、タオルの寄付をこれまで同様お願いできれば幸いです。

- ・新品、未使用、使用後は問いません。
- ・ハンドタオル、フェイスタオル、バスタオル、タオルケット等大きさも問いません。
- ・御年賀やご挨拶で頂いた物、未開封、開封後等問いません。

YMCAだより

【とちぎYMCAサマープログラムがスタートしました！！】
夏が始まりました！夏といえばYMCAのサマープログラムです！

今年の夏もYMCAでお馴染みのキャンプ、デイキャンプスクールに加えて、サッカーフェスティバルや水泳教室などの様々なウェルネスプログラムが開催されます！！また、今年からICEP（International Campers' Exchange Program 青年国際交流キャンプ）が再開され15名の留学生もプログラムを担っています！

7月下旬から、8月末まで様々なプログラムが展開されます。

また、とちぎYMCAのボランティアリーダーが今年の夏も子どもたちのためにプログラムの準備をがんばっています！

今年の夏もさらに暑い、YMCAのプログラムになりそうです！



【全国リーダー研修会に参加したリーダーの感想】

私が参加した今年の5月に岡山で行われた全国リーダー研修会のテーマは、「You must go on」でした。意味は「進み続けろ」です。新型コロナウイルスの影響により絶たれていた繋がりを再構築し、YMCAの進む方向性を再確認するために、かけがえのない研修会になりました。3日間で特に印象に残ったプログラムが2つあります。

1つ目は絵本セラピーです。子どもへの読み聞かせとして用いられることの多い絵本ですが、読み手の技術や内容によっては、大人も一緒に学び楽しむことができることを知りました。どの絵本も興味深いものばかりで、絵本の見方が変わりました。最近では西那須野教会にある絵本を読む機会がありますが、それらの絵本の中にも今まで気づくことができなかつた魅力が隠れているのではないかと感じるようになりました。絵本は、多様性を受け入れること、善悪の判断をしっかりと持つこと、などの言語化

が難しい内容を絵を用いて分かりやすく伝えることができるので、子どもたちに考えを深めてもらうためにぴったりです。今後の活動で取り入れていこうと思います。

同じく印象に残ったプログラムは、「キャンプソングナイト」です。様々な地方からリーダー達が集まっているため、地方で歌い続けられている地域性の強い曲も知ることができました。キャンプソングには、リーダー達の想いがたくさん込められているので、歌っている中で、歌詞に込められた強い想いを感じることができ、胸が熱くなりました。この経験から、那須YMCAにも歌の文化を根付かせたいという思いが強くなり、今年度から試みとして毎週のリーダー会でキャンプソングを歌う取り組みを始めました。今後は、自分達の想いを詰め込んだとちぎオリジナルのキャンプソングを作成するなど、よりYMCAの歌の文化を広めて行けるように努力していこうと思います。

全体を通して、YMCAの魅力をも自分なりに再確認することができました。私が思うYMCAの魅力は、「居場所になれること」です。子供達に対しては、喜びを感じてもらい、友人との交流を深める場所。保護者に対しては、子どもの教育に力添えし、子育てからの一時的解放を提供する場所。リーダーに対しては、考えを共有し、深め、繋いでいく場所です。

今回の経験を活かし、自分がYMCAとどのように関わって行くべきか考えを深めて、より多くの人々の居場所となれるよう、活動を続けていこうと思います。



【とちぎYMCA・那須YMCA8月の予定】

- ・8/1(火)～8/3(木) ICEP3DAYS
- ・8/3(木)～8/5(土) 日光ほしぞらキャンプ
- ・8/7(月)～8/9(水) アドベンチャー3Daysスクール
- ・8/21(月)～8/22(火) さしまチャレンジキャンプ
- ・8/25(金) 魚つかみ&水遊び
- ・8/16(水)～8/18(金) 短期水泳②
- ・8/26(土) サタデークラブ@なかがわ水遊園(水遊び)
- ・夏休み期間中、サマープログラムとしてキャンプやスクール、短期水泳など計9のプログラムが実施されます。

編集後記

- ・8月に入り、酷暑が続いております。連日のように熱中症対策が叫ばれております。体調管理にご留意ください。
- ・台風6号、迷走し長い時間日本列島に影響を与えました。そして、台風7号も同じように長い時間我々の生活に影響を与えそうです。厳重な警戒をしましょう。
- ・会計よりのお願い、今年度の会費の納入をお願いします。